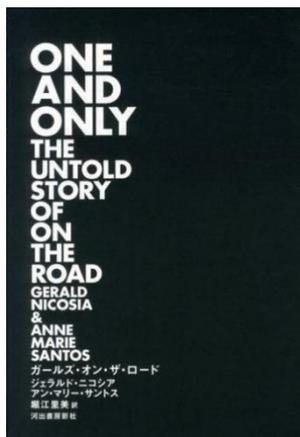


【Flying Books】オーナー山路さんのおすすめ本

画像出典:版元ドットコム

Q12.女子大学生におすすめの書籍をお伺いしたいです。



『ガールズ・オン・ザ・ロード』

著/文:Nicosia, Gerald , Santos, Anne Marie, 堀江 里美,
サントス アン・マリー, ニコシア ジェラルド

発行:河出書房新社

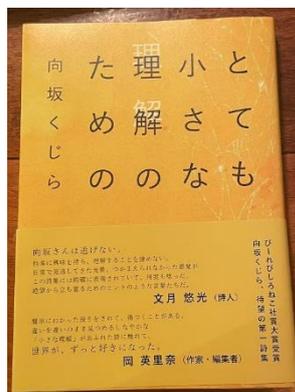
1940年代や50年代の男性中心の社会の中で生まれたビートジェネレーションを女性の目線から書いた本です。男性にとっては、ちょい悪でだめな男性の作家さんとして見られがちですが、それを女性から見るとどのような印象なのかを描いています。



『遠く、近く 掛井五郎のこと』 文:佐伯誠

発行:リトルギフトブックス

掛井五郎さんは数年前に亡くなられたアーティストで、青山学院女子短期大学で長く指導にあたられていました。この方はぶれない生き方をされていて、そのエピソードや作品について知ることができます。女子大学で教えられていたので、これから社会に出る女性に向けたメッセージが書かれている点もおすすめです。



『とても小さな理解のための』 詩:向坂くじら

発行:しろねこ社

20代半ばの女性詩人である向坂くじらさんが、昨年初めて出版された詩集です。向坂さんは「Anti-Trench」という詩の朗読とエレキギターのユニットとして活動していましたが、最近はソロで詩人として活動しています。みなさんのような若い年代の女性が親近感を持つような表現が多く、その点も魅力だと思います。

Q13.春から社会人になる学生におすすめの古書を教えてください。



『火を焚きなさい 山尾三省の詩のことば』

著/文:山尾三省 解説:早川ユミ イラスト:nakaban

発行:親泉社

詩人の山尾三省さんが、屋久島での移住生活を通して感じた自然の中で体験したことを綴った作品です。タイトルの「火を焚きなさい」は詩のタイトルでもあって、ゆっくり自分の心を落ち着かせる時間を大事にしようという意味が込められていると思います。

私自身も最初に就職したときの数年間はすごく忙しかったのですが、バックパッカー時代の旅心を思い返せる本があったので、しんどい最初のサラリーマン時代を乗り越えられたことがありました。この本は、忙しい社会人生活で自分を見失いそうになったときに、立ち止まって振り返る良いヒントになってくれると思います。

Flying Books

住所:東京都渋谷区道玄坂 1-6-3 渋谷古書センター2F

TEL:03-3461-1254

営業時間:13:00~19:00

アクセス:京王井の頭線 渋谷駅より徒歩1分

URL: <http://www.flying-books.com/>

